

由布市立挾間中学校だより「ひむかい」 令和6年度 No.10

令和7年3月3日発行 文責 須藤礼子

回
覧

「3年生が残してくれたもの！3月7日卒業式に思う」

4日後、3月7日に令和6年度の卒業式が開催されます。いよいよ3年生が巣立とうとしています。いつも穏やかで、優しく、さわやかな挨拶をしてくれた3年生。でも、体育大会や文化祭では、逞しさを発揮し、力強く後輩を導いてくれました。学年の仲もよく、進路が決まった生徒が、まだ受験を控えた仲間のために、自分たちのできることを一生懸命にサポートしている姿にも感動しました。先日、全員で最後の奉仕作業として、学校の大掃除をしてくれました。寒い中にも関わらず、一生懸命にいろいろな所を磨き上げてくれました。3年生のを見せてくれた姿は、後輩の心に残っていくと信じています。3年生のこれからの幸せな未来を祈る日々です。



「令和7年度に向かって、小中交流会が開催されました！」

2月7日、挾間町内の4つの小学校の6年生が中学校を訪問し、現中学校2年生（来年の3年生）との交流会を行いました。交流会の中では、中学校の1日の生活、年間の行事や部活動などのプレゼンが紹介されました。これらのプレゼンは、全て2年生の生徒が取材し、自分たちで編集したものでした。中学生にもなると、タブレットを使う技術も高く、6年生も憧れの表情で見つめていました。最後には、2年生全員で挾間中学校の校歌を紹介してくれました。6年生の感想にも、「中学校が楽しみになった」との声がたくさん寄せられていて、やりがいを感じた2年生でした。

4月には、新入生として中学校にやってくる6年生の皆さん、待ってますよ！



{それぞれの学年で、進路学習が進められています！}

中学校の大きな学習の一つに、キャリア教育（進路教育）があります。進路教育といっても、高校入試のことばかりを扱うわけではありません。将来の職業選択に向けて、自分の適性を考える為に、多くの体験活動にも取り組んでいます。3年生では「職場体験」、2年生では「職業講話」、1年生では「地域訪問」に取り組みました。それぞれ地域の皆さんから、仕事のやりがいや地域に生きる思いなどの生の声を聞かせて頂きました。この体験を糧に、子どもたちは自分の人生を考え、設計していきます。全ては、多くの地域の皆さんや事業所の皆さんのご協力のお陰です。本当にありがとうございます。挾間中学校には未来を担う人材が着実に育っています。

シリーズ「つながる！親子で語り合いませんか！」「自分はどう考え、行動するのか？」

先日、とても嬉しいお電話を頂きました。相手は大分南署の交通課からでした。悪いことをしたつもりはないのですが、なぜだかドキドキしながらお話を聞くと、マルミヤストアさんの駐車場で、動けなくなっていたお年寄りを、中学生らしき生徒が介抱し、自宅まで送ってあげたとのことでした。老人のご家族が大変感謝をして、南署に探してほしいとお願いに来られたと言います。すぐに確認すると、その優しい生徒は、2年生の佐野由里子さん、村田恵理さん、後藤絵真さんの3人でした。校長室で話を聞いて、すごいと褒めると、照れながらも嬉しそうにしていました。分かっている、人はとっさの状況の中では動けなくなります。冷静に判断して、最善の方法を実践することは簡単ではありません。その意味でも、3人の行動は素晴らしいことです。

避難訓練の際に、子どもたちには、「いざという時に、自分の命を守るのは自分自身だ。」と伝えました。自分で考えて、行動することで、いざという時に、他人の命も、自分の命も守れるのだと思います。